

FIG 第7分科会—地籍と土地管理
2007-2010 作業計画

1. 題名

地籍と土地管理

2. 使命

- 世界的な地籍、土地行政、土地管理の知識を増やし、それを交換する為の公開討論会を開催する事
- 痩せた土地の専門の土地管理と土地行政の発展を促進する事
- 経済成長を支える持続可能な発展の為の社会基盤としての持続可能な土地行政の発展の重要性を啓発する事
- 地籍、土地行政での革新的、先進的な技術の使用を促進する事
- 世間や利害関係者へ土地行政での測量人の役割についての意識を啓発する事

3. 配慮すべき事柄

今日まで、多くの国では植民地時代に端を発する独自の地籍システムを開発している。事実の登記とタイトルの登記、固定境界に基づくものと一般境界に基づくもの、集中形と分散形などがある。多くのシステムはうまくは動いていないし、全ての人々を利するように動くことに失敗した。少し離れて見ると、システムはどれも同じである。それらは、権利を通して、人と土地の関係に基づいているし、ほとんどの国で情報通信技術(ICT)の発展に影響されている。これらの地籍システムの二大機能は、1：地籍や土地登記システムでの（法務的か慣習的な取扱いに基づいて）登記内容の最新化と2：登記内容の提示 である。

第7分科会は土地行政を扱う。それは、土地管理政策を施行する時に、土地の所有、価値、土地利用の情報を決定し、記録し、広める課程を扱う。(UNECEの土地行政ガイドライン 1996を参照)

「土地の所有」とは（法定的、習慣的、非公式的等の）色々な支配権での土地所有の幅広い概念と考えるべきである。「土地」とは地下、地表面、地上（即ち、建物）の構造物を含む。

更に、第7分科会は土地管理を扱う。それは、（土地改変、土地区画整理、土地市場、土地税制、海洋資源管理の様な）土地政策用の幅広い道具を用いた土地政策の手段である。

キーワードとしては第7分科会は、以下を扱う。

- 土地管理と土地行政
- 地籍、登記申請人
- 地籍改変
- 土地政策、土地改変、土地税制
- 土地所有
- 土地法と土地関係法
- 持続可能な土地行政
- 痩せた土地の専門の土地管理と土地行政
- 地籍調査と測量

- 土地登記
- 紛争終結地域の土地行政
- 災害管理と土地行政
- 慣習法上の権利と団体の権利
- 非公式定住
- 土地行政での公私連携
- 土地政策と土地政策手段
- 土地区画整理
- 土地評価と土地税制
- 土地市場
- 土地改変、土地の民有、土地の再配分
- 土地行政の革新的な技術
- 調査と測量の低価格化
- 地上と海洋の資源管理

4. 全般

4.1 序文

第7分科会は15年前に、活動の概念を確立している。それは、FIGの長期専門的戦略に列せられ、取扱う話題は以下のようなものである。

- 前進的な地籍
- 土地行政の発展
- 安全な土地所有の創設
- 土地行政の革新的、前進的技術の使用

話題は全て土地行政に関係している。土地行政の進展と近代化は、多年に渡り、先進国と発展途上国から要望が増えている。

ここ十年、多くの新しい難問が現れた。持続可能な発展への焦点を当てることの増加、（国内戦争、民族紛争等の）紛争後問題の増加、災害の増加、先進世界と発展途上世界との較差の増加、発展途上世界での急速な都市化等である。土地と財産に関連あるこれらの難問全ては活動に関係する。専門家はこの答を見出さねばならない。

これらの難問のいくつかは、現存の地籍、土地管理機関、土地行政機関で処理されているが、いくつかの既存の機関では対応できなかったか、適当な方法を開発した。21世紀の土地や財産の難問を解決する為に、第7分科会は、測量行為を通じ、未来志向の焦点を合わせることが本質的であると確信している。測量は地籍、土地管理、土地行政の発展と近代化で常に中心的な役割をしなければならない。究極の目的は、土地行政を持続可能な発展の適切な社会基盤とし、土地関連の行動を通して、土地行政機関が持続可能な方法を発展させることである。

第7分科会の理念と目標の達成には、長期間の努力が続くだろう。だから当分科会は専門的な仕事を続けたいし、過年もそうしていた。なお、最後の4年間の経験を踏まえて、少々の変更と新しい優先順を決める必要がある。

FIGの総合的な戦略に従い、第7分科会は以下のことをめざす。

- アフリカ、中南米、アジア、中東、CEEに焦点を合わせ、そこでの会議の開催への努力を継続する

- 他の分科会との協力を強化する
- 国連の機関等との協力を継続する
- NGO、オランダ地籍、ITC等の専門機関との協力の可能性を模索する
- 土地行政システムの発展と確立の為に、専門家や各種の団体や当局向けの情報を収集し、配布する
- 色々な地域からの要望を支援する

4.2 FIG専門戦略に関連する第7分科会の作業計画

第7分科会の伝統に従い、作業計画は、FIGの目標の達成を支援する。

- 他の分科会との協力を拡大し、
- 国連機関、世界銀行等との業務関係を継続し、拡大する事
- 国連や外部機関との共同ワークショップや行事を計画するのを援助する事
- FIG総会や作業週間の専門プログラムを作成するのを援助する事
- FIG活動を全般的に促進する為の地域行事やワークショップへを支援し、測定の新しい優先順位付けを支援し、
- 国の代表がFIG行事へ参加するのを促進し、その国へ情報を配布する事
- 作業結果の出版を支援する事
- 伝統に従い、第7分科会は、FIG行事、総会、作業週間を援助し、
- アジア、アフリカ、中南米、東欧からの代表者を第7分科会やFIGの主な行事に参加する様に支援する事

4.3 目標

土地行政、地籍、土地管理に関する第7分科会が関心のある分野が沢山ある。2007-2010期間での現実的な成果を達成する為に、過年の第7分科会の活動、近年の発展、世界的な土地に関する難問、国連や他の専門機関やNGOが支持している優先度に基づき、課題に優先順位にを付けなければならない。

FIG活動の新しい発展として、第7分科会は国連の「人間居住計画世界土地ツール網」との協力関係形成の可能性を見出すつもりである。

選ばれた重要課題は、次の通りである。

- 瘦せた土地の専門の土地管理と土地行政
 - 慣習的、非公式地域での土地行政と土地管理
 - 低価格での（法的な）登記データと（幾何学的な）地図データの取得、
 - 土地管理、土地行政用の低価格で革新的なツール
- 良好な統治を支える持続可能な土地行政
 - 土地政策の枠組み内での所謂発展途上国での持続可能な土地行政を如何に発展させるのか
 - 所謂先進国での土地行政の持続可能性を如何に保持するのか
- 紛争終結地域での土地行政
 - 紛争後の土地行政の創設や再建は可能か
 - 紛争終結地域での土地の再配分の研究
- 災害管理と土地行政
 - 土地行政と災害管理との関係
- 経済的な土地利用と土地利用規制
 - 経済的な土地利用創造への支援
 - 発展途上国での土地利用と非公式な都市化の管理方法
- 海洋での土地行政と土地管理

- 海洋地籍の発展方法
- 海岸地域管理の支援方法
- 土地行政、土地管理での革新的技術とICT(情報通信技術)による支援
 - 3D地籍と土地登記での土地行政の拡大方法
 - 痩せた土地の専門の土地管理と土地行政を支援する革新的で低価格な技術の開発方法
 - 国内的、国際的なデータ社会基盤の改善策
 - 持続可能な(標準化され、相互利用可能な)土地行政を発展させるためのICTによる支援
 - 土地行政の為の持続可能な能力の形成
- 土地行政、土地管理の制度上の側面
 - 土地行政、土地管理の制度的な枠組みの発展の支援方法

第7分科会は色々な方法でのFIG内や他の機関との協力の下、選ばれた課題を発表するつもりである。

- 第7分科会内のワーキンググループ
- FIGや合同会議での論文発表や講義
- FIGの他の分科会との共同作業
- 国際連合や他の機関との関連作業
- FIGの常設機関である「国際地籍、土地登記事務所」に文書局を開設

5. ワーキンググループ

ワーキンググループ 7.1 - 痩せた土地の専門の土地管理と土地行政の発展

配慮すべき事柄

- 痩せた土地の専門の土地管理の研究の発展を評価し、支援する
- 出来るだけ、土地法、土地所有、所有の保障、土地市場、土地税制、土地利用計画、土地改変、土地再配分、紛争後地域の土地行政と言う様な土地政策や土地管理の発展に関するFIGの概念を伝達する
- 社会的、非公式な土地所有の(幾何学的な)様相を確認する
- 低価格で革新的なデータ取得方法の発展を支援する
- 社会的所有領域モデルを発展させる
- 国連「人間居住計画世界土地ツール網」を援助する
- 痩せた土地の専門の土地管理の研究の能力形成を提案する

座長 Mr. Christiaan Lemmen (オランダ) E-mail: lemмен@itc.nl

ワーキンググループ 7.2 - 持続可能な発展を支える土地行政

配慮すべき事柄

- 持続可能な発展の創造と展開の為の法的で制度的な必須の枠組みを研究する
- 持続可能な土地行政の発展の為の他の条件を確認する
- 紛争終結地域の土地行政を発展させる方法を研究する
- 発展途上国での持続可能な土地行政を創造する為の簡単で低価格な方法を模索する
- 新しい法的な枠組みと新しくより良い行政手法による土地所有の保障の改善を研究する
- 正式な土地の引渡しと(新しい)慣習法的方法での土地の引渡しとの組合せ方法を検討する
- 持続可能な土地行政発展の創造における性的問題の役割を研究する

- 土地改変の為の蓄財や計画の高級化の為の土地税制の実用的な形態を分析する
- 紛争終結地域や災害地域等に対する土地行政の再構築や保持を援助する方法を模索し、確認する

座長 Mr. Søren F. Christensen (デンマーク) E-mail: sfc@kms.dk

ワーキンググループ 7.3 - 土地行政での革新的な技術の使用

配慮すべき事柄

- 電子譲渡と電子管理
- 痩せた土地の専門の土地管理と土地行政の発展を支援する為の革新的で低価格な技術を認定する
- 持続可能な土地行政の為の革新的で進歩した技術を認定する
- 「標準」に取り組む
- 著作権や手数料の問題を検討する
- 土地の境界の証明や明確化に取り組む
- 国内的、国際的なデータの社旗基盤の改善策を検討する
- 3D地籍や土地登記

座長 Dr. Daniel Steudler (スイス) E-mail: Daniel.Steudler@swisstopo.ch

6. FIGの他の分科会との協力

- 3D地籍と土地登記に関する第3分科会との共同WG
- 海岸地域管理と海洋地籍に関する第4分科会、第8分科会との共同WG
- 発展途上国の為の低価格で効率的な技術と手法に関する第5分科会との共同WG
- 都市と田舎の関係、公式・非公式所有の明確化、財産権に関する第8分科会主導の第8分科会との共同WG
- 教育、能力養成に関する第2分科会との共同WG
- 第9分科会はWG9.2「革新的な財政によるスラム状態の改善」を創設した。FIGの関心事として、第3, 7, 8, 10分科会がそれに参加する。第7分科会のWG7.1はその話題を取扱う。Tommy Österberg はその代表人である。

7. 国連の機関との協力

第7分科会は、国連人間居住計画、国連食料農業機構、欧州土地行政作業部会の為の国連経済委員会を含め国連の機関との協力を継続する。

8. 他の専門機関との協力

第7分科会は、オランダの地籍、ITC、測地学・地図学・リモセン(FÖMI)と協力していく。

9. 連絡方法

分科会の事務局は分科会のHPを維持し、関係者との連絡はe-mailで行う。

10. 第7分科会の年次会議と年間行事

FIGの主な行事とは別の時期に年次会議を行うという分科会役員の合意に従い、第7分科会はこれまでのように年次会議をする。いまのところ、2007年は韓国で、2008年はイタリアのベローナで開催予定である。

11. 行事予定

2007

- 第7分科会の年次会議は2007. 5. 19-23に韓国ソウルで開催
- 2007FIG作業週間は2007. 5. 13-17に香港で開催
- 2007. 10. 2-5にカナダのケベックで開催される「2007ケベック地球会議」への参加協力
- 2007. 11. 12-15にコスタリカのサンホセで開催されるFIG地域会議への参加協力

2008

- イタリアのベローナでの第7分科会の年次会議
- 2008. 6. 14-19にスウェーデンのストックホルムでのFIG作業週間

2009

- 第7分科会の年次会議
- 2009. 5. 3-8にイスラエルのエイラッタでのFIG作業週間

2010

- 第7分科会の年次会議
- 2010. 4. 9-16にオーストラリアのシドニーでのFIG総会

12. 分科会役員

分科会長

Mr. András Ossko
Fővárosi Földhivatal
(Budapest Land Office)
Sas U 19
H-1051 Budapest
ハンガリー
Tel. + 36 1 354 2967
Fax + 36 1 354 2952
E-mail: foldmeresv@foldhjiv.hu

分科会事務局長

Mr. Gyula Iván
E-mail: ivan.gyula@fomi.hu
Tel. + 36 1 460 4081

分科会秘書

Mrs. Mária Tóth
Assistant
E-mail: Maria.Toth@fvm.huFIG
c/o Institute of Geodesy Cartography and Remote Sensing
1592 Budapest Pf. 585
ハンガリー
Tel. + 36 1 222 5101
Fax + 36 1 222 5112

副分科会長でWG 7.1 (痩せた土地の専門の土地管理と土地行政の発展) の 座長

Mr. Christiaan Lemmen
Cadastre and Public Registers Agency
P.O. Box 9046
NL-7300 GH Apeldoorn
オランダ
Visiting address: Jean Monnetpark 1, 7336 BA Apeldoorn
Tel. + 31 55 528 5634
Fax + 31 55 355 7362
E-mail: lemмен@itc.nl

副分科会長で WG 7.2 (持続可能な発展を支える土地行政) の 座長

Mr. Søren Fauerholm Christensen
National Survey and Cadastre Denmark
Rentemestervej 8
DK-2200 Copenhagen NV
デンマーク
Tel. + 45 3587 5616
Fax + 45 3587 5050
E-mail: sfc@kms.dk

副分科会長で WG 7.3 (土地行政での革新的な技術の使用) の 座長

Dr. Daniel Steudler
Eidg. Vermessungsdirektion
Swiss Federal Directorate of Cadastral Surveying
Seftigenstrasse 264
CH-3084 Wabern
スイス
Tel. + 41 31 963 2413
Fax + 41 31 963 2297
E-mail: Daniel.Steudler@swisstopo.ch

(訳者) 井上 登
JFS第7分科会委員長
朝日航洋(株) 空間情報事業本部 理事